

# 水族館へ行こう!

## 京都大学白浜水族館

### イボヤギ



満開のイボヤギ  
(水槽番号225)



しぼんだ状態の  
イボヤギ



水槽につり下げられ  
た冷凍のミンチジュ  
ース

(京都大学技術職員)

### 昼間、満開にさせるために...

ランクトン代わりの餌になる、  
というあんばいだ。

流によって水中  
を漂つ。これが  
よく伸びた触手  
にくっつき、プ

イボヤギはイシサンゴの仲間  
で、波が荒くて潮の流れが速い、  
水深10m付近までの岩礁にすん  
でいる。サンゴ礁を造る多くの  
イシサンゴ類(二造礁サンゴ)  
は、体内に単細胞の藻類を共生  
させ、日光がよく当たる場所を  
占有して大きな群体に成長す  
る。だが、イボヤギはこの共生  
藻を持っておらず、薄暗い岩棚  
の下面やすき間に、せいせい10

ほどの塊状の群体で固着して  
いる。  
イボヤギは、夜間に触手を伸  
ばしてポリプを開き、昼間はし  
ぼんでいることが多い。これは、  
餌となる動物プランクトンが夜  
間に海面付近まで浮き上がって  
くるので、効率よく捕食できる  
からだと考えられる。

この夜行性の活動パターン  
は、昼間に開館する水族館にと  
ってはあまり都合がよくない。  
餌やりは昼間に限っているし、  
しぼんでいる姿よりは、触手が  
十分に伸びた活動状態の方が見  
栄えもするし、体の造りもよく  
分かるからだ。  
そこで餌の種類や与え方を工  
夫してみた。すると、イボヤギ  
は案外素直に活動パターンを変  
えてくれた。しかも長生きで繁  
殖もしているので1993年以  
降、一度も補充していない。

まず朝一番に、釣りのまき餌  
に使われるアミから搾り出した  
汁を水槽に垂らしてやる。する  
と、これが刺激となり触手を伸  
ばし始める。  
同時に、冷凍しておいたミン  
チジュース入りのペットボトル  
を水槽の上から逆さまにつり下  
げる。ミンチジュースとは、オ  
キアミ、アミ、ペレット、魚卵  
などを一緒にミキサーにかけて  
できたミンチを海水で薄めたも  
の。1匹のミンチジュースは6  
〜10時間かけて水槽の中に溶け  
出し、餌刺激で触手の満開状態  
を持続させる。

さらに午前と午後1回ず  
つ、このミンチの塊を水槽にぶ  
ら下げたかこの中に入れてや  
る。ミンチは徐々にふやけ、水